

胎児性患者も出席

チツソの
株主総会 水俣病家族きょう出発

二十六日大阪で開かれるチツソの株主総会に出席する水俣市の水俣病患者家族は、二十三日午後湯堂の患者宅で会合を開き、最終的な打ち合わせをした。出席する患者家族は十九人で、そのうち患者自身七人と胎児性患者一人も含まれており、直接患者自身がチツソに対して「水俣病へ責任を取れ」と怒りをぶつける。

二十四日は午後十時水俣駅前集合、前同僚白波栄に鈴証、スゲガサ、手甲きやはんの巡礼姿で、駅前でご詠歌を歌って午後十時三十九分水俣駅発特急「きりしま」に乗り込む。これに水俣病市民会議の目吉フミコ会長ら六人が同行する。熊本駅から熊本・水俣病を告発する会の会員十九人も加わる。

水俣駅から出発する患者家族は一定。湯堂、坂本フジエさん(四)と十四人で、残り五人は東京などで開かれた別の集会に出席のためすでに出発しており、二十五日大阪で合流する。

患者家族のうち患者自身が出席するのは、ご詠歌を指導した月の浦、田中義光さん(六)の二女実子さん(七)や坂本フジエさんの二女しのぶさん(七)と胎児性患者など八人で、それぞれ両親や母親に付き添われて出席する。

大阪に午前十一時到着したあと、そのままチツソ本店に行き抗議する。部落解放センターに泊、二十六日午前十一時厚生年金ホールでの総会に臨む。帰りは岡山で手内職をやっているところを見学するなどして二十八日の子